

あっぱれ! 100歳

ご長寿おめでとうございます



元気な笑顔のタマエさん(中央)

ちば 千葉 タマエ さん (湊町) 気持ちはいつでも

3月15日、千葉タマエさんが100歳の誕生日を迎え、4月6日に遠藤市長が自宅を訪問し、お祝い状とお祝い金を贈呈。家族と100歳の長寿を祝いました。

タマエさんは18歳で東京の洋裁学校に入り、洋裁が大好き。娘の制服も自分で作るほどの腕前。個人で洋裁の仕事もしました。長寿のひけつは「魚や野菜だけでなく、お肉もよく食べる」と笑顔で話してくれました。



職員に祝福される繁富さん(中央)

さわやま しげとみ 澤山 繁富 さん (長内町) 散歩が好き

4月11日、100歳の誕生日を迎えた澤山繁富さん。同日職員が施設を訪問し、お祝い状と祝い金を贈呈。施設関係者らと一緒に100歳の長寿を祝いました。

繁富さんは久慈農林高校を卒業後、北海道の営林署に勤務し、26歳で結婚。56歳で退職を機に久慈に戻り、市内で再就職。80歳過ぎまで働いたそうです。

車いすを押しながら施設の職員と散歩をして、交流することが好きと教えてくれました。

久慈地区汚泥再生処理センター (新し尿処理場) 竣工式

NEWS

廃棄物を資源化する機能が加わりました

久慈広域連合は、3月30日洋野町中野で久慈地区汚泥再生処理センターの竣工式を開催しました。式には市と広域3町村の関係者ら約30人が出席。テープカットが行われ、完成を祝いました。



テープカットを行う関係者ら

処理能力は旧施設と同じく1日当たり105キログラムで、汚泥性状の変化に対応し、衛生的な処理を安定して行います。処理過程で発生する脱水汚泥はセンター内で堆肥化し、希望者に配布します。配布方法は、今後の広報を確認ください。決まり次第広報でお知らせします。

世界最先端技術の実証プラント完成式典

NEWS

ごみをエタノールに変換する技術を久慈市から世界へ



実証プラントの外観

4月8日、積水バイオリファイナリー株式会社の実証プラントが完成し、現地で竣工式が行われました。式には株式会社INCJの志賀俊之代表取締役会長、遠藤市長らが参加し完成を祝いました。同社は、積水化学工業株式会社と経済産業省が所管する官民ファンドINCJが共同で設立した会社で、「ごみ」をガス化して「エタノール」を製造する実証事業をおおむね5年間行う予定です。

実証プラントは実用機の約10分の1の規模で、ガス化炉、エタノール製造施設などを建設。久慈広域連合から一般家庭ごみを1日約20ト提供。式典で積水化学工業株式会社の加藤敬太代表取締役社長は「次世代に豊かな社会を引き継ぐ第一歩。ごみの資源化技術を事業化し、必ず世界へ広げていきたい」と強い思いを語りました。

遠藤市長は「久慈市が世界初の技術の発信地になることを期待している」と事業の成功を願いました。また、積水化学工業株式会社と市は、同施設での実証事業以外にも、産業振興、脱炭素社会の実現など、さまざまな分野での連携を図るため、地方創生に関する相互連携協定を締結しています。今後は侍浜市民センターに太陽光パネルと蓄電池を設置し、再生可能エネルギーの実証事業も展開していく予定です。



施設の始動ボタンを押す加藤社長

「久慈育ち琥珀サーモン」販売開始

NEWS

久慈市漁協・養殖ギンザケ今季初水揚げ

久慈市漁業協同組合では4月14日、事業後初となる養殖ギンザケ(愛称・久慈育ち琥珀サーモン)およそ3200尾の水揚げを実施。市営魚市場前に集まった水産関係者の関心を集めました。同組合では、近年激減している秋サケの水揚げを補うためギンザケ養殖に着目。平成31年4月から養殖試験を実施、運営のめどが立った昨年10月から区画漁業権免許を取得し、養殖事業を開始しています。

国内主要産地の宮城県では4月から7月にかけて水揚げすることが基本ですが、久慈市沖は夏でも海水温が低いため、高品質の魚が育ちやすく、需要が高まる8月も水揚げが可能であり、産地としての優位性の高さが特徴です。



いけすから水揚げされるギンザケ

同組合の営漁指導課 豊秀明係長は「今年の冬は例年より1℃以上海水温が低く心配したが、食欲が落ちることなく順調に成長した」と安心と手応えを感じていました。今後は生育状況に応じ8月まで水揚げが行われる予定。最終的には総水揚げ量600トのギンザケが東北・北関東のスーパードに並び、久慈市の新たな海の幸として皆さんの食卓へと届けられます。

令和4年度の住民健診・がん検診について

INFO

関係推進課 ☎61-3315

市民の皆さんが安心な毎日を送るために、今年も健康診査とがん検診を実施します。申し込みをした人には、実施日の2週間前をめどに、個別に受検票や、日程などのお知らせを送付します。がんの早期発見・早期治療には、定期的な検診が効果的ですので、積極的に検診を受けましょう。

■集団健診の実施内容

〔山形・山根地区住民健診〕

- ▼日程：9月下旬、10月上旬(受け付けは午前中のみ)
- ▼その他：健康診査のほかがん検診など(乳がん、子宮頸がんを除く)を同時に受けられます

〔久慈地区住民健診〕

- ▼日程：11月上旬、12月上旬
- ▼その他：健康診査のほかがん検診など(胃がん、乳がん、子宮頸がんを除く)同時に受けられます
- ▼対象：40歳以上
- ▼検査方法：バリウムを飲んで、胃のレントゲン撮影を行います

〔乳がん検診〕

- ▼日程：10月上旬、中旬
- ▼対象：40歳以上の女性
- ▼検査方法：40歳代の人にはX線(2方向)と超音波検査。50歳以上の人はX線(1方向)

〔子宮頸がん検診〕

- ▼日程：12月中旬、令和5年1月下旬
- ▼対象：20歳以上の女性
- 受診間隔は2年に1度になります

〔出稼ぎ者健診〕

- ▼日程：令和5年1月5日(木)・6日(金)(受け付けは午前中のみ)
- ▼その他：がん検診など(乳がん、子宮頸がんを除く)を同時に受けられます

●山形診療所

- ▼日程：7月、令和5年2月
- ▼その他：健康診査や、がん検診など(乳がん、子宮頸がんを除く)を同時に受けられます。受診日は指定されますが、1日5〜6人ずつの受診なので、待ち時間が短く、1回で健康診査とがん検診を受けられます